

川崎区社会福祉協議会
福祉パルかわさき

福祉情報をお届けします!

平成 26 年 10 月 1 日発行



ウェーブ

第91号
wave

【発行】
社会福祉法人
川崎市川崎区社会福祉協議会
福祉パルかわさき
川崎市川崎区日進町 1-11
川崎ルフロン 8 階
電話：044 (246) 5500
FAX：044 (211) 8741
mail：info@kawasakikushakyo.or.jp



【発行人】 富田 順人
【編集人】 小山内美幸

川崎区社協 HP <http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/>



ご協力
ありがとうございます。



共同募金運動

10月1日から赤い羽根街頭募金が始まります。大師第四地区社会福祉協議会内の7町内会(大師町、大師本町、東門前12丁目、東門前3丁目、中瀬2丁目、中瀬3丁目、昭和町)は、東門前小学校前、大師町商店街、昭和町商店街、島忠ホームズ入口で5日間にわたって募金呼びかけます。

昨年「募金の使いみち」や「社協活動とはどういうものか」を記載したパネルを使用し、募金をお願いしています。募金していただく方に詳しく説明しなくても、パネルを見れば一目瞭然でわかっもらえるので、募金者からも募金をお願いしています。

大師第4地区民生委員児童委員協議会 会長 星川 美代子



みなさんの思いやりが
赤い羽根共同募金の源流です

Contents もくじ

- P1 羅針盤 みなさんの思いやりが
赤い羽根共同募金の源流です
- P2 共同募金の
使いみち

- P3 新コーナー 福祉用具再利用「譲ります・譲ってください」10月1日からスタートします!!
- P4 第19回川崎区社会福祉大会と地域福祉活動交流
フェスティバルを同日、同会場で開催 他

共同募金運動が今年も10月1日からはじまります

共同募金運動は、“たすけあいの心”をつなぎ、誰もが安心して暮らすことのできる地域を目指し、様々な福祉活動を支援する活動です。皆様からお寄せいただいた募金は、民間社会福祉施設・団体や障害者地域作業所、社会福祉協議会等に配分され、計画的・効果的に活用させていただいております。川崎市川崎区支会では、今年度も町会・自治会をはじめ、民生委員や地区社会福祉協議会等、多くの方々のご協力により共同募金運動を推進いたします。

昨年皆さまからお寄せいただいた総額は29,515,986円でした。



赤い羽根募金の使いみち

配分総額:18,264,842円

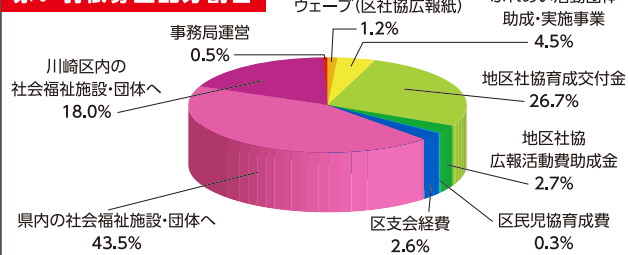
◆区内の社会福祉施設・団体 3,380,000円

- かざぐるま……………事業活動車両購入
- なかまの家……………IHクッキングヒーター設置工事
- ひょうたん……………エントランス改修工事
- (特)ワーカーズコレクティブたすけあいまりん…在宅福祉サービス実施のための運営費
- (特)わいわい…在宅福祉サービス実施のための運営費

※県内の社会福祉施設・団体 8,162,842円

◆区社会福祉協議会の事業費 6,722,000円

赤い羽根募金配分割合



年末たすけあい募金の使いみち

配分総額:11,251,144円

◆年末たすけあい運動「支援金」

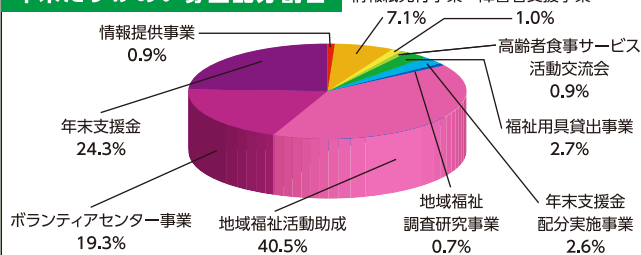
2,735,000円

民生委員さんのご協力をいただき、区内の片親世帯、心身障がい者(児)世帯、寝たきり等高齢者世帯、災害遺児世帯など、合計547世帯へ「支援金」をお届けしました。

◆区社会福祉協議会の事業費

8,516,144円

年末たすけあい募金配分割合



社会福祉協議会では、共同募金配分金を次のような事業で活用しています。

- 10地区社会福祉協議会への活動支援、助成
- 区民生委員児童委員協議会への活動支援、助成
- 会食・配食活動など高齢者支援活動への助成
- 情報紙『ウェーブ』の発行
- ボランティアグループなどへの地域福祉活動助成
- ボランティアセンター事業
- 高齢者食事サービス活動交流会
- 障害者支援講座 ● 福祉用具の貸し出し



▲障害者支援講座



▲ふれあい会食会カルタ大会

今年も共同募金運動にご協力をお願いいたします!

赤い羽根募金は10月1日～12月31日、年末たすけあい募金は12月1日～12月31日

川崎区内では10月1日から川崎駅周辺や商店街などで街頭募金を行います。また共同募金運動の期間中、ご家庭、学校、職場など様々な場所でご協力のお願いをしています。たすけあいのまちづくりのための皆様の温かいご協力、よろしくお願いいたします。

今年度も川崎フロンターレとコラボレーションしたバッジを取り扱っています!



神奈川県共同募金会川崎市川崎区支会(川崎区社会福祉協議会内)

TEL 044-246-5500 FAX 044-211-8741 HP <http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki-kyobo/>



新事業

福祉用具のリサイクル等有効活用事業の実施について

10月1日からスタートします！



福祉用具再利用

「譲ります・譲ってください」

ご家庭で不要となった福祉用具を再利用する事業を始めました！ ぜひご活用ください。

【利用対象者】 川崎区内に在住の方

【福祉用具とは】 車いす、ベッド、ポータブルトイレ、入浴補助用具、歩行器、シルバーカー（手押し車）、杖、スロープ、紙おむつ等で安全かつ衛生上問題なく修理を必要としないもの

申込み方法

譲りたい方 窓口、または当会ホームページにある申込用紙に必要事項を記入し、提出。
提供する福祉用具の写真を持参または画像データを区社協のメールアドレス (info@kawasakikushakyo.or.jp) に添付します。所定の申込み用紙に物品の状態（型番や使用回数等）を記載してください。（写真や画像の返却はできません。）

譲ってほしい方

窓口または当会ホームページにある申込用紙に必要事項を記入し、提出します。

情報を公開

譲りたい方と譲って欲しい方の情報を公開します。（最長6か月）

- ①当会のホームページ
<http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/index.cgi>
- ②広報紙ウェブの4面
- ③当会の事務所の掲示板
（個人情報提示しません。）

希望にあう福祉用具がみつかったら

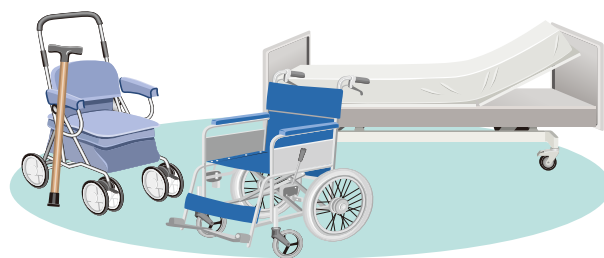
メール (info@kawasakikushakyo.or.jp) または、窓口にご連絡をください。
相手方のお名前と連絡先を知らせます。

譲渡

譲ってほしい方が譲ってくれる方に連絡し、詳細な情報を確認し、条件があれば譲渡となります。

※結果を当会事務局に連絡ください。

川崎区社会福祉協議会 044-246-5500



区内10館の いこいの家

健康の日について



いこいの家は中学校区エリア（徒歩20分圏内）に各1か所あり、川崎市内在住60歳以上の方々がご利用になっています。高齢者の方々が住み慣れた地域で、いつまでも安心して健康に暮らせるよう、利用者ご自身の健康への気づきのために、健康の日を設けます。指定管理業務である相談業務につなげていきます。

多くの皆様にご利用いただくため、いこいの家の存在と事業について広報宣伝していきます。健康の日には幟旗をいこいの家玄関などに掲げ周知します。

開催日 平成26年10月より**毎週月曜日**実施（原則）

方法 ★血圧計・体重計での計測
★計測の推移の観察
★確認チェックリストの活用

- 記入** 管理人が健康チェックに係わります。
- 保管** 個人情報を含みますので、個別ファイルを管理人が保管します。
- 相談** 管理人が生活や健康面で悩んでいることをうかがい、関係機関につなげます。

第19回川崎区社会福祉大会と 地域福祉活動交流フェスティバルを 同日、同会場で開催

日時 平成26年11月15日(土)

場所 川崎市教育文化会館

**入場
無料**

内容 ☆川崎区社会福祉大会 (6階大会議室／開場9:30)

【第1部】表彰 10:00～11:00 【第2部】落語 11:00～11:30

「落語家のヘルパー修行日記 介護は十人十色」 林家源平 氏

☆地域福祉活動交流フェスティバル

12:30～15:30 (1・2・4・6階／12:30～15:30)

◇PRパネル展示 ◇体験コーナー ◇福祉バザー ◇活動発表 他



林家源平 氏

主催：川崎区社会福祉大会／社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会

地域福祉活動交流フェスティバル／川崎区ボランティアセンター 地域福祉活動交流フェスティバル実行委員会

《問合せ先》社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会 地域課

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-11川崎ルフロン8階 TEL 044-246-5500 FAX 044-211-8741



川崎区社会福祉協議会にご寄附いただき、ありがとうございます。
(寄附受付順)

- 清田美恵子 様
- アルミ缶リサイクルボランティアの会 代表 高橋順子 様
- 川崎市スポーツ推進委員プルタブの会 代表 尾嶋和幸 様
- 株式会社 建築柳本 柳本廣 様
- 民生委員 大谷宣夫 様
- 小池久美子 様
- 一般社団法人川崎南青色申告会 様

(平成 26 年 7 月 1 日～ 8 月 31 日)

車椅子の寄贈で社会に貢献

平成15年8月にスポーツ推進委員(旧体育指導委員)は、発足しました。スポーツでは市民の方々に貢献していますが、もっと別な角度でも社会貢献を試みようとするプルタブの会を始動しました。



第1回目の車いす寄贈が平成18年9月に4台。時間を要しましたが、会長や事務局長と写真撮影をしていただき、プルタブの会の活動記事の掲載をきっかけに、より信頼性を高め、その後は小田五・六を初め川崎・横浜・相模原の方々にも積極的にご協力をいただけてきました。現在までに合計36台を寄贈できました。



川崎市スポーツ推進委員
プルタブの会
代表 尾嶋和幸

◀プルタブの会 代表 尾嶋和幸氏(写真中央)